

平成 28 年 4 月 21 日

経済産業大臣 林 幹雄様
電力・ガス取引監視等委員会委員長 八田 達夫様
電気事業連合会会長 八木 誠様

「望ましい行為」である電源構成の開示への具体的な推進策立案への要望書

「電力の小売営業に関する指針」では、小売電気事業者が料金の標準メニューを公表することや電源構成を開示することは「望ましい行為」として位置づけられています。すでに一般電気事業者やごく一部の大手新電力は、自社 web サイトでこれらの環境情報を自主的に開示しております。

しかしながら、平成 28 年 4 月 7 日時点で計 279 の小売電気事業者の登録がされていますが、ほとんどの事業者が「望ましい行為」とされる電源構成の開示を行っていません。また既に開示をしている一般電気事業者等もこれらの情報を各社 web サイトの様々な場所に様々な名称で掲載しており、容易にたどり着くことができません。また、表示に一貫性がなく需要者にわかりにくい状況は大きな問題です。

事業者や一般の消費者が小売電気事業者に関する環境情報を入手し、これにより小売事業者を比較検討し電力をグリーン購入することは、持続可能な社会形成へ資する有効な手法です。しかし、環境情報がほとんど開示されていない現在の状況では比較選択することができません。地球温暖化対策並びに持続可能な社会形成へむけて、国ならびに業界団体に対して「電力の小売営業に関する指針（経済産業省）」に沿った「望ましい行為」である電源構成の開示への具体的な推進策の立案を要望致します。具体的には以下のような対策を提案致します。

【具体策 1】 小売電気事業者に対して、電源構成の開示有無についての情報を国ならびに業界団体として収集・把握し、電源構成の開示を行っている事業者については、web サイトの URL 等の情報をとりまとめ、インターネット等を通じて情報発信を行う。

【具体策 2】 小売電気事業者に対して、「電力の小売営業に関する指針（経済産業省）」に沿った「電源構成の開示」が望ましい行為である旨を定期的に知らせる機会を設定する。

【具体策 3】 事業者や、地方公共団体等の優良取組事例についての情報収集を行い、他の団体への共有機会をつくり、横展開を図る。

賛同者（五十音順）

NPO 法人えこひろば、国際環境 NGO FoE Japan、NPO 法人環境市民、グリーン購入ネットワーク（GPN）、一般社団法人滋賀グリーン購入ネットワーク、台東リサイクルネットワーク、WWF ジャパン、公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、日本チェーンストア協会

（連絡先）グリーン購入ネットワーク（GPN） 金子、深津

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-16 馬喰町第一ビル 9 階

TEL : 03-5642-2030 E-mail : gpn@gpn.jp HP : <http://www.gpn.jp/>

グリーン購入ネットワーク（GPN）について

グリーン購入を促進するために、1996 年に設立された企業・行政・民間団体などによる緩やかなネットワーク組織。グリーン購入の普及啓発活動や、商品分野ごとの購入ガイドラインの策定、商品の環境情報を掲載したデータベースの運営などを行っている。2015 年 11 月時点の会員数は 2,373 団体（企業 1,964、行政 182、民間団体 227）。2016 年 4 月に「電力供給事業者の環境情報データベース」

[（http://www.gpn.jp/guideline/electric_power.html）](http://www.gpn.jp/guideline/electric_power.html) を開設した。